

プラスチック製容器包装類収集の課題

1 ごみ出しの「現状と課題」

現状と課題

市川市のプラスチック製容器包装類の収集状況

○週1回のプラスチックごみ収集【平成14年(2002年)10月～】

⇒家庭内の保管場所の負担(かさばり、回収日まで家で保管)

○ペットボトルとプラスチック製容器包装の混合収集

⇒排出先のプラスチック製容器包装、ペットボトルの品質評価が低い

⇒「じゅんかんプラン21」(令和5年4月策定)における

資源化率の数値目標達成(30%以上)が困難

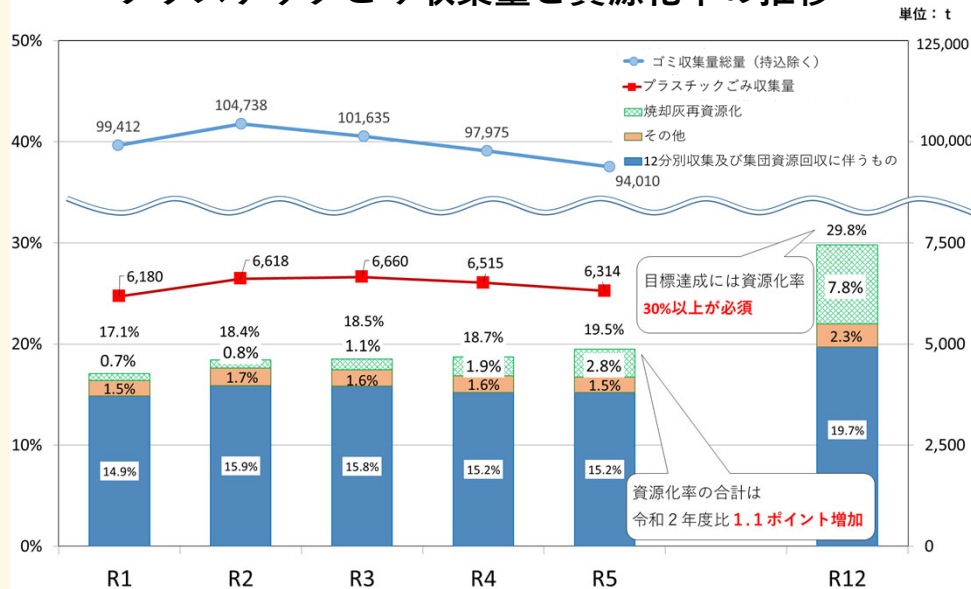
プラスチック再資源化の動向

令和4年度に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行

⇒市町村の役割として、「家庭ごみに含まれるプラスチック使用製品の分別収集」に努めることとなった。

プラスチック製容器包装類の新たな収集方法の開始

プラスチックごみ収集量と資源化率の推移



資料2 令和5年度のごみ排出量等の実績について(報告)「3 資源化率」より抜粋、一部加工

2 プラスチック製容器包装類の分別収集に関するアンケート結果(抜粋)

Q. 収集回数は週1回ですが、負担に感じることはあれば教えてください。

心理的負担

- ・買い物などでプラスチックごみが発生する場面が多くあり、邪魔に感じる。
- ・邪魔なので燃やすごみと一緒に出したいくなる。

物理的負担

- ・家の中等での置き場が負担に感じる。

Q. プラスチック製容器包装類の中で多く排出するものはどれですか。

- トレイ類(生鮮食品や野菜を入れたもの)、ペットボトル、袋類(レジ袋・お菓子の袋・ラップ類)

Q. 集積所以外のスーパー等のペットボトル専用回収ボックスを利用する理由は。

「出したい時に出せるから利用している」(多数)

- ・家の中での保管が負担であり、出したい時に出している。
- ・指定袋の節約になるから。
- ・環境にもよく効率的だから。等

Q. プラスチック製容器包装類の収集について、ペットボトルだけを別の日に出すこととなった場合、どのように感じますか。

負担に感じない(それほど負担に感じないを含む) 7割

- ・指定袋でなく、透明や半透明の袋にしてほしい。
- ・専用ネット回収にしてほしい。等

Q. 本市における将来のプラスチックごみの分別収集についての主なご意見(自由記載)

- ・環境のためにも、プラスチックの再資源化を進めるべき。
- ・収集回数を増やしてほしい。
- ・ペットボトル専用回収ボックスを設置してほしい。等

課題解決に向けて

今後のプラスチックごみ収集体制に求められること

- ・週1回のプラスチックごみ収集による市民の心理的・物理的負担の軽減
- ・資源化率の向上に向けた収集方法の検討